

一の宮っ子

第43号

発行
一宮市児童育成連絡協議会

事務局
一宮市栄3丁目1番2号
尾張一宮駅前ビル4階
(一宮市社会福祉協議会内)
TEL 0586-85-7024
FAX 0586-85-7025

令和元年11月20日

ウェブサイト「一の宮っ子」<https://www.intell-inc.com/ichinomiya.jido-ren/>



▲ いざというとき動けるために

宮西連区 小鳩子ども会
三年 水野 愛菜

わたしは、子ども交りゆ会のぼうさいくん動会にお母さんと妹といっしょにさんかしました。

かんごしさんがきてくれて、心ぞうマッサージとAEDのきかいについて教えてくれました。わたしはじっさいに心ぞうマッサージをしたのは、はじめてで、きんちようしたけど、おしえてくれたか

子ども交流会 防災運動会

宮西連区 小鳩子ども会
三年 水野 愛菜

たなかリレーでは2リットルのペットボトルに水を入れて人に見立てて、妹といっしょにはこびました。とちゅうでベツトボトルをおとししてしまったけれど、人がのつていたらもう少ししんちようにはこばないといけないなあと思いました。たんかか一人では、はこべないのでいっしょにはこぶ人といきを合わせる事が大切だと思えました。

○×クイズではぼうさいについてのものんだいで、しらなもんだいはかりだったけどとてもべん強になりました。

たなかリレーでは2リットルのペットボトルに水を入れて人に見立てて、妹といっしょにはこびました。とちゅうでベツトボトルをおとしってしまったけれど、人がのつていたらもう少ししんちようにはこばないといけないなあと思いました。たんかか一人では、はこべないのでいっしょにはこぶ人といきを合わせる事が大切だと思えました。



一連の流れが、いざという時にできるのかわからないけど、そんな場面に出会ったら教わった事を、役立てたいと思います。

次に、担架リレーをしました。棒やタオルを使って担架を作り水を入れたベツトボ

その次に、人を呼んで119番で救急車が到着するまでに心臓マッサージをします。AEDの使用は、AEDをセツトするまでにしっかりと説明を聞いてパツトを取り出し、装着をしボタンを押してシヨックをあたたえます。この

萩原町連区 ほたる子ども会
五年 大杉 凌雅

ぼくは、6月1日に、木曾川体育館で、子ども交流会防災運動会に参加しました。

まずは、AED体験をしました。人形を使って、息をしているか心臓が止まってないか確認しました。



▲ 知らないことばかりで勉強になりました

ル4本を人に見立てて運びました。意外とむずかしかったです。

○×クイズでは、ぼくが、知らなかった事が多く出されました。楽しかったです。この一日で、貴重な体験ができたので、いざという時に役立てたいと思います。



▲ 息を合わせて慎重に運ぼう！

スポーツ大会

大志連区 エムズ子ども会
五年 松永 晴楓

6月15日に球技大会が行われました。毎年、大志連区全体で行われるドッジボールの大会です。五年生の私は、六年生との男女混合チームでした。いよいよ試合です。

私は試合中、取れるボールは取り、強いボールが来たらにげることを意識しました。友達がボールを取った時は、「がんばって当てて」と、はげました。チームのメンバー全員でせいっぱいがんばりましたが、一回戦は1対3で負けてしまいました。二回戦は私は外野になり、



▲ 球技大会お疲れ様でした

6月23日の日曜日に、4年ぶりにスポーツ大会が行われました。私のチームは、子ども会ごとではなく学年でわかれたチームでした。しかも今年にはチーム名



小信中島連区 日の出子ども会
六年 大宮司 あゆみ

コートの外からせめました。外野として、相手チームの内野に投げていく所をねらいボールを投げました。同じチームの友達はななめにボールを投げたり、回転をかけたりと、工夫をしてボールを投げていました。ところが私のチームは一人しか当てられず、1対2で負けてしまいました。あと一人でも当てたら勝てたかもしれないと思うと、とてもくやしい気持ちでいっぱいになりました。来年は勝てるようにがんばりたいと思います。



▲ 伝説の最強チーム！

があつて、私のいたチームは『伝説の最強チーム』となんとも名前だけは強そうなチーム名でした。もし一回戦で負けてしまったら、最弱チームになってしまふと少し不安でした。でもチームで作戦をたてたりして勝ち進み、優勝を決める決勝戦まできました。相手チームの六年生がとても強そうだったので、チームの強そうな子にはボールがわたらないよう作戦をたてました。みんなはどうしたらボールをよけるかなというところも考えたりして、みんなで気合をいれて決勝戦にいどみましました。決勝戦はたくさん人が見ていて緊張したけど作戦通り動きました。そして私たちのチームが勝ってみんな

喜びました。小学校生活最後のドッジボール大会だったのととてもうれしかったです。みんな協力する大切さ、応援してくれる人の声が自分達の力にかわることを学べました。



貴船連区 両郷寺連合子ども会
六年 小林 泰賀

6月30日の日曜日に、毎年子ども会で行われている球技大会がありました。去年まではドッジボール大会でしたが、今回はドッチビー大会になりました。小学校最後の大会なので、優勝したいと思っていました。

最初は各ブロックで戦い、2勝1敗という結果になりました。ブロックで2位でしたが決勝トーナメントに進むことができました。負けたら終わりの戦いなので、



▲ 優勝おめでとうございます！

ブロック戦よりもドキドキ、ワクワクしてきました。何度かピンチをむかえながらもみんなであい、準備は決勝ではサドンデスに勝ち、ついにぼくたちは決勝に進むことができました。いよいよ決勝が始まりました。ぼくは当てられてしまいました。味方のファイナルプレーでセーフになりました。みんなで戦いぬき優勝することができました。優勝を目指していたので本当にうれしかったです。最後まであきらめずに戦い、みんなが助けあって優勝できたことは本当にいい思い出になりました。



西尾張地域
子ども会
指導者育成研修会

西成連区

指導部長 野村 寛子

6月22日、江南市民文化会館で開催された指導者育成研修会に参加させて頂きました。

前半での講演は、アサヒキヤンプ事業を長年担当されている中久木さんのお話でした。ご自身が幼かった時に所属していた子ども会活動での楽しかった経験がきっかけとなり、現在も子どもたちの自主性を重んじて、健常児・障害児の枠を取り払って活動を展開されているそうです。キャンプでは多くの経験を積んだ先輩が後輩を指導し、安全で楽



▲ これからの子ども会活動へいかしていきます

しい行事運営を行うそうですが、是非この仕組みを各子ども会でも実践してみたいとの事でした。後半では数人のグループに分かれ、『子どもの手による子ども会』にしていくには、どのようなしたらよいかを話し合いました。地域性や人数の規模によって多少の違いはありましたが、少しの部分でも行事の進行や企画を子どもに任せる事で、子ども主体性を育てていけるのではとの意見が多かったと思えます。



▲ 『子どもの手による子ども会』を目指して

私はこの3日間を通して、たくさんの方と学ぶことができました。いろんな地域の人達、違う年齢の人達と交わり、楽しく会話をしたり、ゲームをしたり、いろんな活動を通してジュニアリーダーとして何をしたいのか、何を伝えていくべきなのかを見つけてくる事ができました。ただ、子ども会の人たちにゲームを指導したり、遊んだりするだけではなく、全ての人達の安全にも気をくばって、楽しい時間を過ごしてもらうための手助けをしていくことのむずかしさを実感しました。年齢の違う、体格の違う、男子、女子、さまざまな人たちが全員をまとめて、いっしょになっで行動させることはとてもむずかしいことです。自分たちの声かけ、行動がとても大切だと思っています。

このように東海北陸研修会を通して、自分たちのあり方などを理解し、自分の市を活性化させるように学びました。



▲ 良い経験ができたね

私も、この研修会で学んだことを地元で学んだことを広めていきたいです。この研修会は、私の最高の思い出です。

東海北陸地区
子ども会
ジュニアリーダー
研修会

ジュニアリーダー

中二 坂田 朱音

まずはこの3日間を通して、たくさんの方と学ぶことができました。いろんな地域の人達、違う年齢の人達と交わり、楽しく会話をしたり、ゲームをしたり、いろんな活動を通してジュニアリーダーとして何をしたいのか、何を伝えていくべきなのかを見つけてくる事ができました。ただ、子ども会の人たちにゲームを指導したり、遊んだりするだけではなく、全ての人達の安全にも気をくばって、楽しい時間を過ごしてもらうための手助けをしていくことのむずかしさを実感しました。年齢の違う、体格の違う、男子、女子、さまざまな人たちが全員をまとめて、いっしょになっで行動させることはとてもむずかしいことです。自分たちの声かけ、行動がとても大切だと思っています。

私は、この研修会で学んだことが、たくさんあります。一つ目は、野外活動でのいかに体験です。いかに体験だけでなく、協力してオールをこいだり、いかに運んだりするので、協力することの大切さを学ぶことができました。二つ目は、提灯ナイトウォークです。提灯ナイトウォークでは、順番にミッションをクリアしてゴールするというものです。私は、提灯ナイトウォークで班とのキズナを深められたと思っています。こどもも、協力してミッションをクリアしていき、私達の班が一番にゴールすることができました。私達の班はこの会をもっと盛り上げたいと思います。次にゴールした班が通る花道を作りましました。それがどんな長くなっているか、盛り上がりつつあったのでとてもうれしかったです。こうやって、協力して楽しむという大切さが分かった気がします。

ジュニアリーダー
中二 山口 大空

ジュニアリーダー
中一 松井 菜月

ジュニアリーダー

資格認定講習会

ジュニアリーダー中級

高二 大橋 栞

今回、資格認定の中級に参加して、一宮市ではできない体験をしてきました。また、改めてジュニアリーダーとしての役割や子どもたちとの触れ合いなどを学びました。

安全の講義では、KYTを行いました。次の日にキャンプファイヤーをやるといふこともあり、グループで分かれています。どこがキケンかを出し合いました。出し合ったものの中に実際本当にキケンだと思っ



▲ ジュニアリーダーの役割を学びました

た部分がありました。中級の仕事は、ファイヤーの運営と安全第一で初級の子たちを楽しませることが目標でした。どうやったら、ファイヤーを楽しんでいる中、注意できるかを考えながら行いました。ファイヤーを行ってみて、楽しむのが一番でその中で安全であることも大切です。自分たちジュニアリーダーは、KYTで学んだことを生かして、安全に行い、危ないと思つたら、楽しんでいられる中、こういう声かけをしたらいいのかなどを学びました。

ジュニアリーダー

高二 井藤 光寿

私は、3日間の活動を通してジュニアリーダーとしての勉強をしてきました。

一日目

会場である愛知県青年の家に時間どおりに着き受付をして開会式の場所へ移動しました。式が始まるまで他の参加者と交流をとりました。

会が始まると楽しいレク活動が始まります。ニュースポーツをやりました。体験した中で一番楽しかったのは、ボックスホッケーです。ぜひ一宮でやりたいです。次に安全について学びました。ほうたいのむすび方がいろいろあり、いつか使うことがないよう活動していききたいです。そのほかにもジュニアリーダーをやっていくうえで必要な知識をえて一宮でいかしたいことがあります。

二日目

一日とおして野外活動をしました。普段できない事ができて楽しかったです。

三日目

あつというまの3日間と考えるぐらいに濃密な経験をしてジュニアの活動をさらに深く楽しくもりあげたいです。

ジュニアリーダー

中三 大橋 杏

私は全子連認定ジュニアリーダー資格認定講習会に参加してたくさんのことを学びました。例えば班活動を見守る上でジュニアリーダーは何



を考えて行動するべきかをみんなで話し合いました。「班をまとめるためにコミュニケーションをとる」「あくまでも子どもが主役」などがとても重要だと思いました。コミュニケーションをとるためには自分から子どもたちにもっと話しかけにいかないといけないなどあらためて思いました。また、「子どもが主役」なのでなんでもやってあげたりしないで、子どもたちが自分でできるようにサポートをするのも必要だなと思いました。

このように資格認定講習会に参加してたくさん学ぶことができましたし、これまでにできなかった経験がたくさんありました。学んだこと、経験したことをいかしてこれからも派遣などががんばりたいです。そして、たよられるジュニアリーダーになりたいです。

表彰

去る9月1日、市制施行記念日に、一宮市児童育成連絡協議会専門委員長杉山いづみ様、今伊勢町連区児童育成協議会監査 大橋容史様、同ジュニア担当 則武小百合様の3名が長年の活動を認められ表彰されました。



▲ おめでとうございます！

広報委員

河辺 三代・大窪 文子
奥田 純子・織田 智草
藤井 恵・大塚 ますみ